

はまゆう支援学校

実施日時	令和2年9月24日（木）～11月19日（木）
参加者	高等部3年生（5，6班）16名、教職員3名 計19名
実施内容	防犯・防災

ねらい

- 1 自然の事物・現象についての基本的な理解を図る。
- 2 様々な危険を予想し、日頃から様々な備えを行うことの必要性に気づき、適切な判断力を身につける。

主なプログラムと概要

- 1 【防犯】・過去に起こった不審者に関する事件に触れる。
 - ・危険予想
 - ・ロールプレイング
- 2 【防災】・南海トラフ地震について（地震のメカニズム）
 - ・災害時の行動選択
 - ・応急手当について（骨折・止血）
 - ・簡易トイレの作り方

参加者感想文

- ・応急手当について、身近な物が役に立つと分かった。

成果と課題

【成果】

簡易トイレ作りや応急手当について、資料での説明だけではなく、体験する活動を入れることで分かりやすく実りあるものになった。

防犯や防災について、起こりうる様々な危険を想定してイメージさせることで、備えを行うことの大切さや、自分たちで工夫して生活していくことの大切さに気付かせることができた。

【課題】

不審者に遭遇したことや大きな地震が起こった経験が生徒たちにないため、身近に迫る恐怖として伝えることが難しかった。体験談などをまじえて話すことができればよいと感じた。